

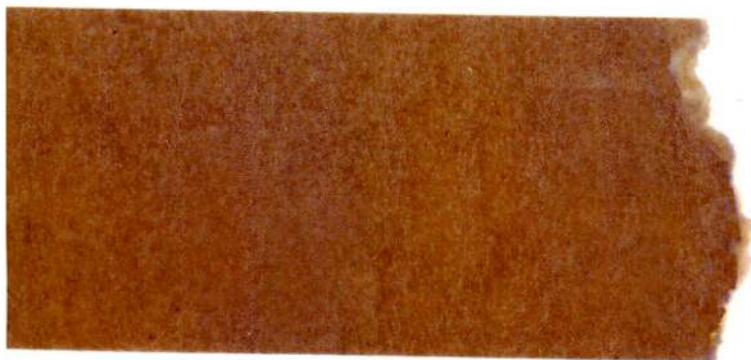


# LOVE&FREE

世界の路上に落ちていた言葉

Word&Photo by Ayumu Takahashi

文/写真 高橋歩





# LOVE&FREE

ラブ アンド フリー

～世界の路上に落ちていた言葉～

文/写真 高橋歩



## はじめに

1998年11月から2000年7月にかけて、約1年8ヶ月間。  
結婚したばかりの妻とふたりで、気の向くままに世界数十ヶ国の路上を歩いた。

自分は、3年間続けた会社を離れてフリーになったばかりだったし、銀座のOLだった妻のさやかは、寿退社をしたばかりで、長い旅に出るには、「今しかない！」という絶好のタイミングだった。

旅のコースも、期間も、特に決めなかった。  
「スタートはオーストラリア。あとは気の向くままに。まあ、金がなくなったら帰ろう」  
それだけを決めて出発した。

世界中の路上で、カフェで、ビーチで、バス停で、安宿のベッドで....  
大好きなコーラを片手に、タバコを吹かしながら、  
自分の「ココロの井戸」を掘るようにして、いくつもの詩<sup>うた</sup>を書いた。

「いいじゃん！」と感じるシーンに出逢うたびに、  
ポケットから小さなデジカメを取り出して、何千枚もの写真を撮った。

帰国後、旅中に残した詩と写真の中から、特に気に入ったものだけを選んで、1冊にまとめたら、この本が出来上がった。

オーストラリア、東南アジア、ユーラシア、ヨーロッパ、アフリカ、南米、北米、日本....  
世界の路上の片隅で、さまざまな人々が僕にくれた「LOVE&FREE」のかけらを、  
あなたに贈ります。

高橋 歩





... be obtained by purchasing insurance  
... insurance is not affected by any limitation of  
... Warsaw Convention or such special  
... formation, please consult your airline  
... 000 above is inclusive of legal fees  
... brought in a state where provision is  
... and costs, the limit shall be the sum  
... costs

Y  CARDS

*Little My Friend!*

THE ONLY ONE WE HAVE • ONE WORLD



THE ONLY ONE WE HAVE • ONE WORLD

*World Journey!*

Love & Free  
ONE WORLD



ISSUED BY **Garu**

ENDORSEMENTS/RES

VA

PKS/BEN/BEN Bag

LAKE

X/O NOT GO

TO



VA  
Cer  
exc  
the  
your  
routi  
with





ONE

**TO CROSS  
STREET  
→  
PUSH  
BUTTON  
WAIT FOR  
WALK  
SIGNAL**

A838159



# CONTENTS : 目次

はじめに

Journey 1

AUSTRALIA : オーストラリアへ

Journey 2

SOUTH-EAST ASIA : 東南アジアへ

Journey 3

EURASIA : ユーラシアへ

Journey 4

EUROPE : ヨーロッパへ

Journey 5

AFRICA : アフリカへ

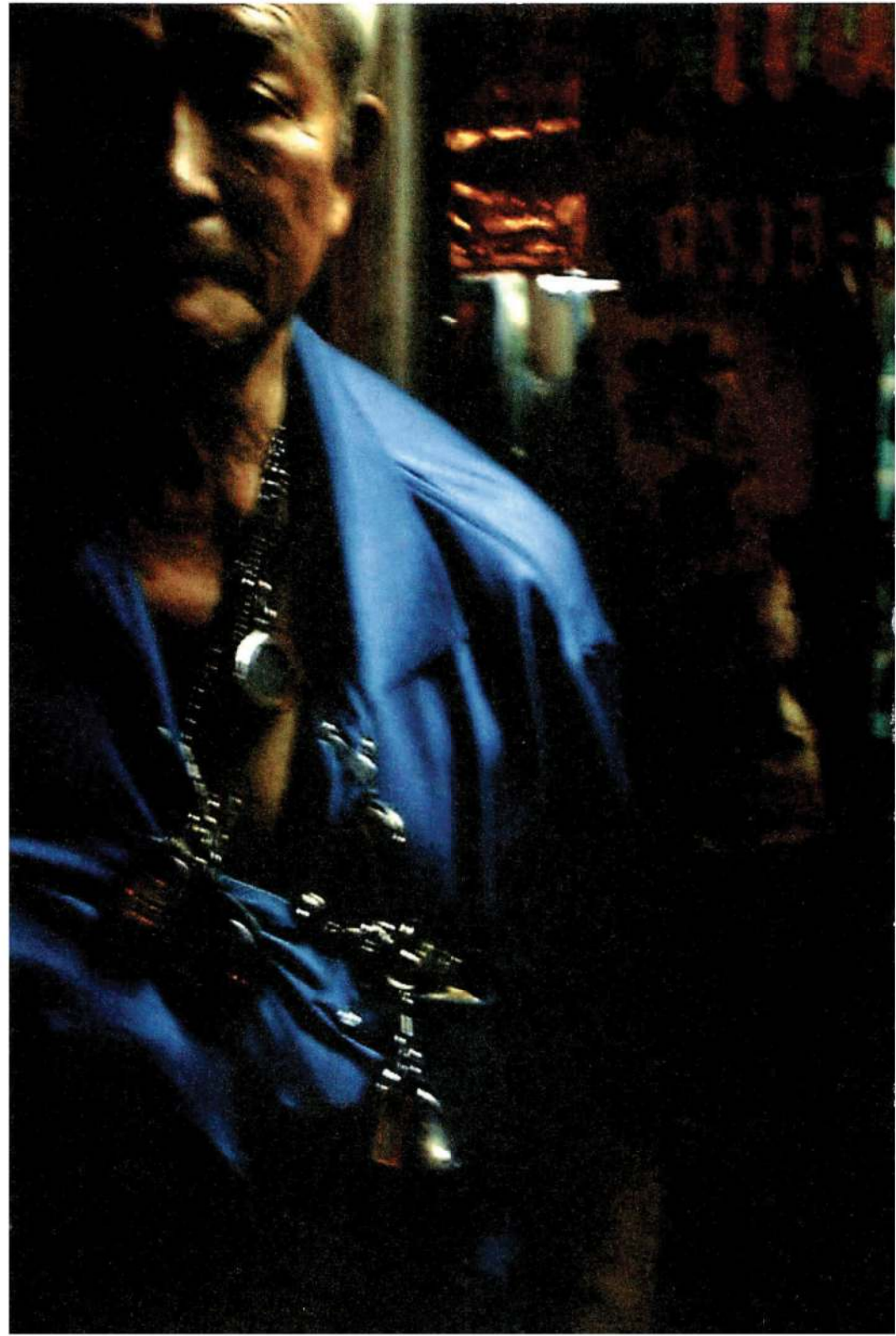
Journey 6

SOUTH&NORTH AMERICA : 南米 & 北米へ

Journey Final

JAPAN : 日本へ





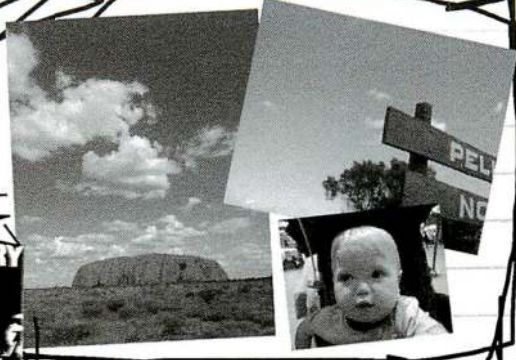


# LOVE&FREE

世界の路上に落ちていた言葉

高橋 歩 著

From Ayumu Takahashi



Pict Space

Ayumu & Sayaka

**The World Journey**  
1998.11.23~2000.7.6

**Journey:1**  
**AUSTRALIA**  
オーストラリアへ

**MAP**



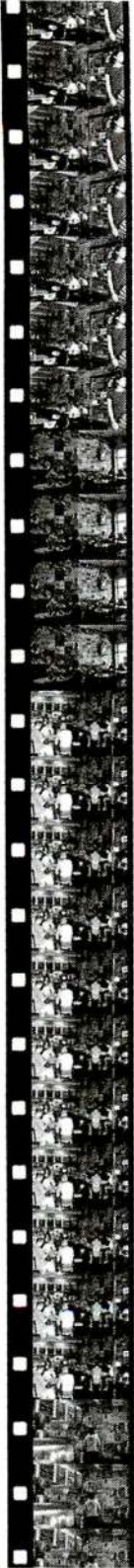
Map Space

Love & Free'  
**AND SURBAN**





キミの心の中のトムソーヤは元気かい？





## WEEKLY LIFE

各地で「ホリデーアパートメント」(安い貸別荘のようなもの)に1週間ずつ泊まりながら旅を続けている。

地球上のあらゆる場所で、「1週間の暮らし」を味わう。

まるで、1週間ごとに引っ越しをしているみたいだ。

一面の海、古びた駐車場、隣のビルの壁、高層ビル街の夜景、緑溢れる公園...

部屋の窓から見える景色が、1週間ごとに変わるっていうのは、とってもイカしている。

どこの街に行っても、  
免税店、観光案内所、空港というよりは、  
スーパーマーケット、地元のBAR、バス・ストップなどに足が向く。

お金には少々制約があるが、時間だけは無限にある旅。

日本で頑張っているであろう仲間達への懐かしさと、  
新しく出逢うであろう見知らぬ人々への期待が、胸の中で行ったり来たりしてる。

大好きな彼女とタバコと酒、そしてホンの少しの運さえあれば、  
当分は楽しくやっていけそうな気がする。

**NO  
JUNK MAIL**

**78 RECORDS**



**EXERCISE**

**YOUR EARS**

**Community Aid**

**One World**

## プロセス

時間に余裕があるからだろうか？

旅に出てから、「プロセス」が妙に気になるようになった。

「プロセス」を楽しむようになった。

タバコも、1本ずつ葉っぱを紙で巻き、コンコンと詰めて、ぷうーっと吸う。

食事も、1回ずつ食材を集め、ゆっくりと創り上げる。

何をみても、「これはどんな風に創られたのかなあ。どんな人が、どんな想いで創ったのかなあ」なんてことが気になってくる。

すべてのモノが、誰かによって創られてる。

あらゆるモノに対して、「創った人の想い」と、その「プロセス」を想像できるようになれば、きっと人生は豊かになる。



## 昨日、見たもの

昨日、街のメインストリートをパンイチ（白いパンツ一枚）で歌いながら歩いているおっさんを見た。

昨日、ビーチで70才くらいの老婆と若い男のカップルがディープキスしているのを見た。

昨日、混んでいるスーパーマーケットの床で熟睡しているアボリジニの少年を見た。

昨日、真っ昼間の公園の芝生でエッチしているふたりを見た。

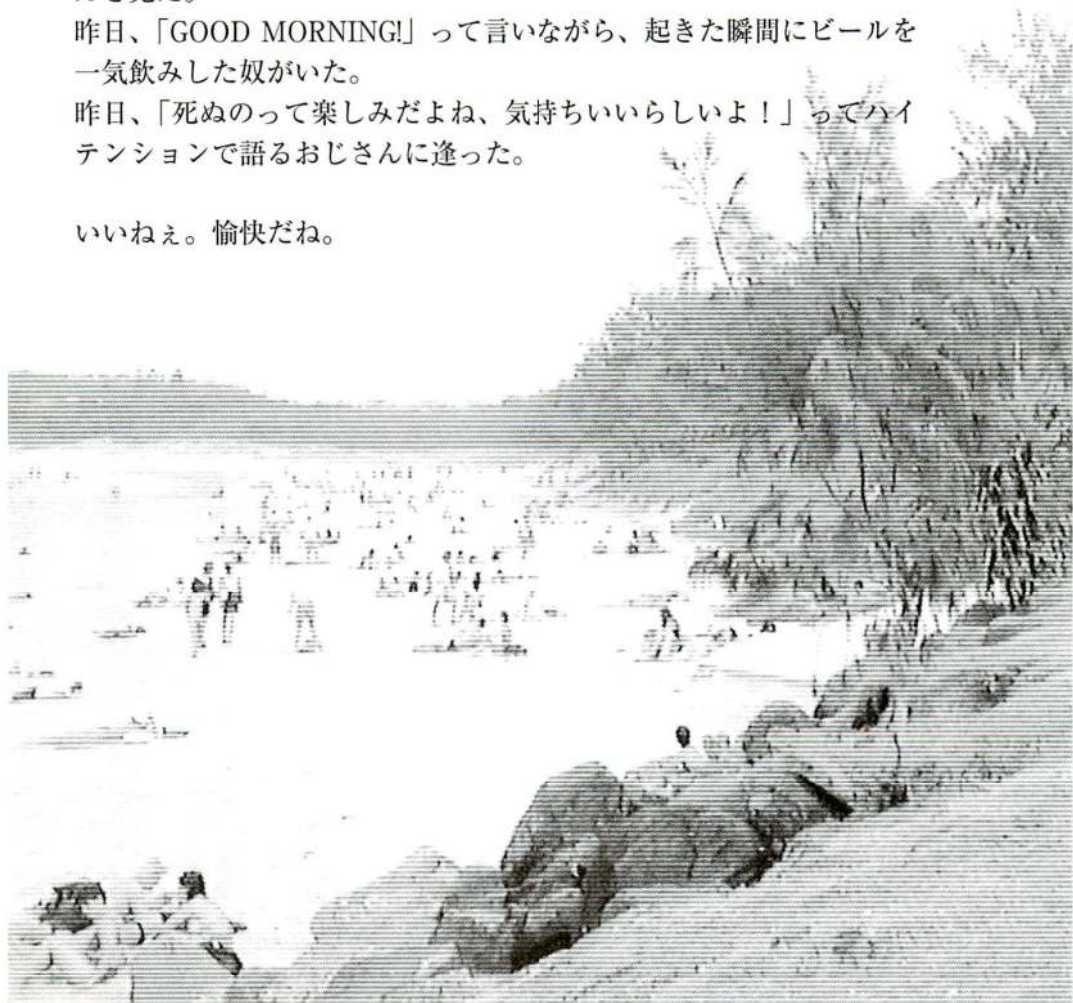
昨日、めちゃめちゃ陽気でポップな浮浪者に逢った。

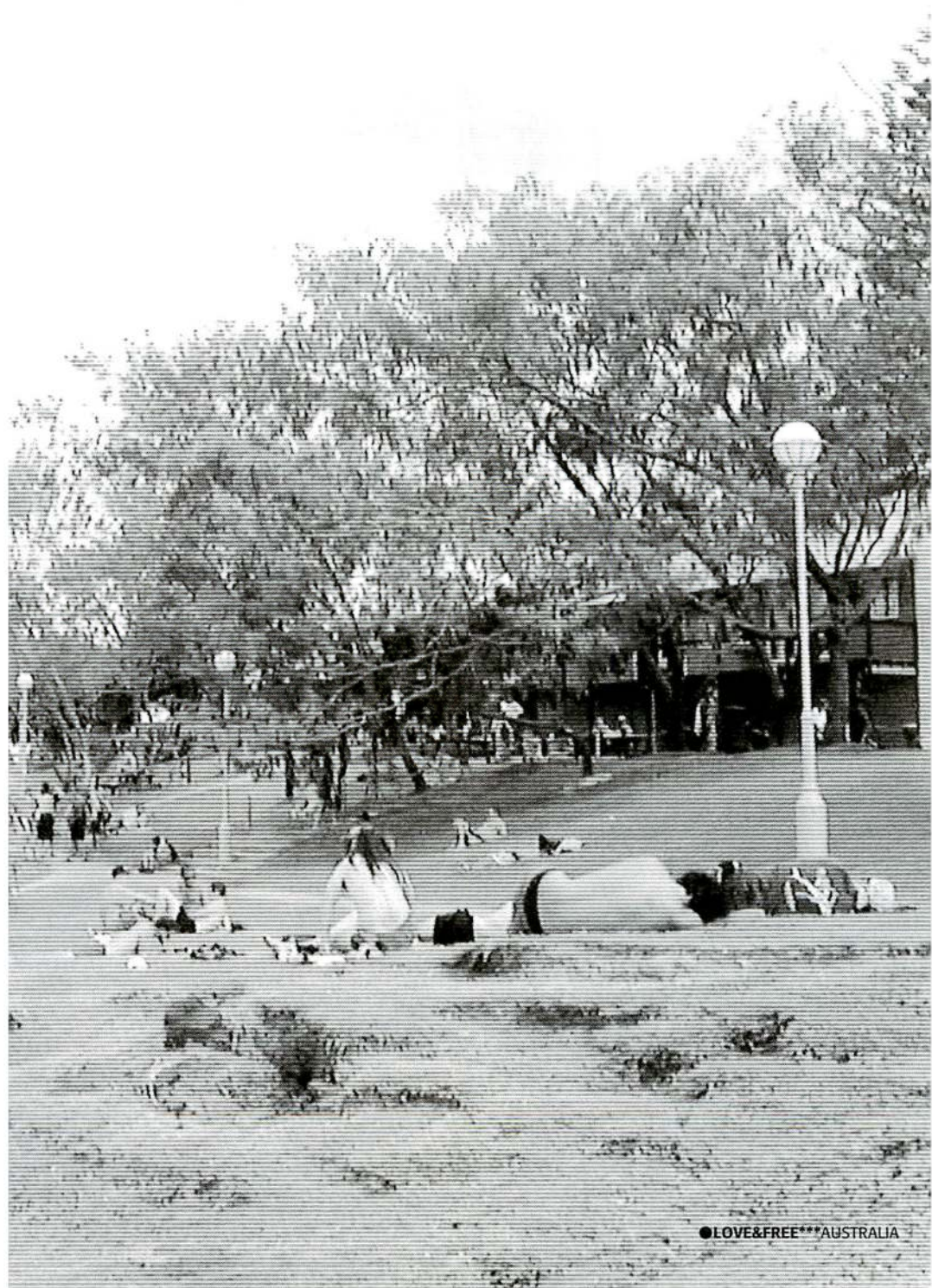
昨日、顔面にハエを30匹くらいくっつけてニコニコしているおばさんを見た。

昨日、「GOOD MORNING!」って言いながら、起きた瞬間にビールを一気飲みした奴がいた。

昨日、「死ぬのって楽しみだよね、気持ちいいらしいよ!」ってハイテンションで語るおじさんに逢った。

いいねえ。愉快だね。











## ヒッピーのタテ笛

小学生の頃に、ソ・ミ・ソ・ミ・レ・ド・レ・ドって「カッコウ」とかを吹いてた、なつかしいタテ笛。

ランドセルからサッと抜き、刀代わりにしてチャンバラをしたタテ笛。

あのタテ笛を、夜のビーチで髪の高いヒッピー達が吹いてた。

音楽の先生のように上手ではなかったけど、

天国からゆったりと吹いてくる風のような音が耳に優しかった。

海を見ながら座り、目を閉じ、旋律に耳を澄ますと、

小学生の頃の自分と今の自分がオーバーラップした。

俺はどこから来て、どこへ向かうんだろう。

あれから20年。これから何年？

タカハシアユムという生命が辿り着ける限界いっぱいまで、成長し続けていきたい。







## 長距離バスの旅で発見した法則 1

イタリア人：ハエに弱い。

アメリカ人：狭い場所に弱い。

中国人：孤独に弱い。

## 長距離バスの旅で発見した法則 2

「NO FOOD」～食べ物禁止のバスにて～

日本人：コソコソ食べる。しばらくして見つかって注意される。やめる。

アメリカ人：堂々と食べる。すぐに見つかって注意される。やめる。

アボリジニ：堂々と食べる。すぐに見つかって注意される。

それでも食べ続ける。



